

用語解説

空き家バンク

各地方自治体等が、Web サイト等を活用して空き家の情報を公開し、利活用希望者に紹介している取組のこと。

ICT 技術

「Information and Communication Technology」の略でインターネットを活用して、情報収集・伝達、処理を行う情報通信技術のこと。

合併処理浄化槽

台所や風呂の生活排水を、し尿とあわせて処理できる浄化槽のこと。人口密度の比較的低い地域では公共下水道と比べて設置費が安く、短時間で設置できるため投資効果が確保し易くなっている。(単独浄化槽は、水洗トイレの排水だけを処理する浄化槽のこと。)

カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることで、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。令和 2 年(2020 年)10 月、政府は 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。

緊急輸送道路

大規模な地震等が起きた場合における救助、物資の供給、諸施設の復旧など、広範な応急対策活動を広域的に実施するため、非常事態に対応した交通の確保を図ることを目的に指定する道路のこと。

グリーンインフラ

社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能(生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等)を活用し、持続可能で魅力ある地域づくりを進めること。

グリーン・ブルーツーリズム

緑豊かで海が広がる農山漁村の民宿等に滞在し、地域の農水産業や文化、自然を体験したり、地元の人々との交流を行ったり、楽しむ余暇活動のこと。日帰りできる農漁業体験や直売所等での地産地消の取組等も幅広く含みます。

景観行政団体

景観法に基づき、良好な景観の保全・形成を図るなど、景観行政を担う自治体のこと。

景観コントロール

周囲の環境と調和するように、建築物や屋外広告物等の形態や意匠、色彩等を調整し、良好な景観を形成・維持すること。

公共交通空白地域

公共交通の便利さの指標の一つで、駅やバス停が一定の距離の範囲内がない地域のこと。

耕作放棄地

以前耕作していた土地で、過去 1 年以上作物を作付け(栽培)せず、この数年の間に再び作付け(栽培)する意志のない土地のこと。

交流人口

通勤・通学、買い物、文化鑑賞・創造、学習、習い事、スポーツ、観光、レジャー、など様々な目的でその地域を訪れる人のこと。

コンパクト・プラス・ネットワーク

少子高齢化社会に対応するため、より効率的にサービス提供ができるように、都市機能(行政や医療・福祉、商業、金融等)を集約したまちを中心核として、各地域拠点や集落地等を公共交通でつなげる都市構造のこと。

再生可能エネルギー

太陽光、風力その他非化石エネルギー源のうち、永続的に利用することができると認められたエネルギー源のこと。太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・大気中の熱その他の自然界に存する熱・バイオマスが定められています。

SUP

Stand Up Paddleboard(スタンドアップパドルボード)の略です。ハワイ発祥のマリンスポーツで、サーフボードより少し大きめの板の上に立ち、パドルを漕ぎながら波乗りや海の上を散歩することが楽しめる水上アクティビティのこと。

自主防災組織

地域住民が自主的に連帯して防災活動を行う組織のこと。一般的に、自治会又は町内会単位又はその下部組織として結成されることが多く、学校区単位やマンション単位で結成されることもあります。

自助・共助・公助

「自助」とは、災害が発生したときに、まず自分自身の身の安全を守ること。この中には家族も含まれる。

「共助」とは、地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと。

「公助」とは、市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助のこと。

集約型都市構造

都市の無秩序的な拡散を抑制し、都市機能の集積を促進する集約拠点とその他の地域を公共交通ネットワークで有機的に連携させる都市構造のこと。

循環型社会

循環型社会推進基本法では、第一に製品等が廃棄物等となることを抑制し、第二に排出された廃棄物等についてはできるだけ資源として適正に利用し、最後にどうしても利用できないものは適正に処分することが徹底されることとしています。これにより実現される、「天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会」のこと。

水源涵養機能

森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能のこと。

また、雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化されます。

スポーツツーリズム

美しい海を活かしたマリンスポーツ(SUP やサーフィン等)や温暖な気候を活かした様々なスポーツイベント(マラソン等)への参加や観戦を目的とした旅行のこと。

脱炭素化

地球温暖化対策のため、二酸化炭素の排出を低減していくこと。

地域包括型まちづくり

子どもから高齢者など誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、地域全体で支え合うため、多様な主体との連携や ICT 技術等を活用してサポート体制を構築したまちづくりのこと。

地産千消

地域(勝浦市)で生産された農林水産物を、千葉県全体で消費すること。

DX(デジタル・トランスフォーメーション)

デジタル技術の活用による新たなサービス・価値の提供等を通して、制度や組織・文化なども変革していくような取組のこと。

デマンドタクシー

自宅や指定の場所から目的地まで、時間帯や乗降場所などの要望に応えられる予約制乗合タクシーのこと。

都市機能増進施設

医療・福祉、商業等の居住者の共同の福祉又は利便性向上を図るために必要な施設のこと。

土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じる恐れがあると認められた区域のこと。

土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じる恐れがあると認められた土地の区域で、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造が規制される区域のこと。

二地域居住

主な生活拠点とは別の特定の地域に生活拠点(ホテル等も含む)を設ける暮らし方のこと。

ハザードマップ

地震や津波、土砂災害等の自然災害による被害を予測し、災害発生箇所や被害範囲、避難場所等の情報を地図上に図示したもの。

バリアフリー

高齢者や障がい者などが生活や活動をするうえで障害となっている、道路や建物内の段差など、障壁を取り除くこと。

パークアンドバスライドシステム

郊外や市街地周辺部のバスターミナルやバス停周辺などに駐車場を整備し、マイカーからバスへの乗り継ぎを図るシステムのこと。

復興の事前準備

平常時から災害が発生することを想定し、被害が発生しても対応可能なソフト的対策を事前に準備し、早急に復興できるように関係機関と連携して対策を行うこと。

ブルーカーボン

沿岸・海洋生態系(藻場(海草・海藻)や塩性湿地・干潟、マングローブ林等)が光合成によりCO₂を取り込み、その後海底や深海に蓄積される炭素のこと。

ブルーフラッグ

環境教育プログラムを通じて持続可能な発展を目指す国際団体である環境教育基金(FEE)が、ビーチにおける環境教育、水質、環境マネジメント、安全とサービスの状況について国際的に優れていることを認証する制度のこと。

ヘルスツーリズム

自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然環境を体験し、身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持を目的とした旅行のこと。

勝浦朝市での朝活やサイクリング、ハイキング等が挙げられます。

ポケットパーク

道路整備や交差点の改良によって生まれた小規模スペースに、ベンチや休憩所等を設置することで作られた小さな空間のこと。

緑の交流拠点

公園やスポーツ・レクリエーション施設、緑地、農地、斜面林等を活用して、自然を体感できる場所や拠点のこと。

緑のネットワーク

道路や公園、河川等において、緑の連続した空間や拠点をつなげた軸のことで、周辺とのまちづくりの中で一体的に形成される緑のある空間、またはオープンスペースのこと。

勝浦市では、緑のネットワークの形成により、うるおいのある快適なレクリエーション(ハイキングやサイクリング等)の形成、良好な景観の形成、防災性の向上、生物多様性の確保等の効果が期待されます。

藻場

沿岸域の海底に見られる大型の海藻・海草が群落を形成している場所のこと。

様々な生物に餌場や隠れ場、産卵場所などを提供し、海の豊かな生態系を支え、光合成により水中の窒素やリン、二酸化炭素を吸収して酸素を供給する機能もあります。

モビリティ・マネジメント

一人ひとりのモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向(過度な自動車利用

から公共交通等を適切に利用する等)に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策のこと。

立地適正化計画(略称:立適)

市町村が作成する居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により、都市全域を見渡し、持続可能な都市構造を目指す包括的なマスタープラン(計画)のこと。

UIJ ターン

「U ターン」とは、地方出身者が大都市から地元に戻ることに。「I ターン」とは、大都市出身者が地方に移住すること。「J ターン」とは、地方出身者が大都市から地元に近い地方に移住すること。

遊休農地

かつて農地だったが現在農地として利用されておらず、今後も農地として利用される可能性も低い土地であり、農地ではあるけれど周辺の農地と比較した時に利用の程度が著しく低い土地のこと。

ユニバーサルデザイン(略称:UD)

「Universal Design」の略で年齢や性別、文化、身体状況等の人々が持つ様々な個性や違いに関わらず、誰もが利用しやすく、暮らしやすい社会となるように、まちや建物、もの、サービス等をデザインすること。

用途地域

都市の将来像を想定した上で、機能的な都市活動の推進や良好な都市環境の形成を図るために、都市計画法に基づき、住居、商業、工業等の13種類に区分し、建築物の用途、形態等に関する制限をしている地域のこと。

要配慮者

高齢者、障がい者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方のこと。

ライフライン

生活・生命を維持するための水道・電気・ガス・通信などのこと。

ワーケーション

Work(仕事)と Vacation(休暇)を組み合わせた造語のこと。テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地等、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ、仕事を行うこと。



発行日 令和8年3月

発行者 勝浦市

〒299-5292

千葉県勝浦市新官1343番地の1

TEL 0470-73-1211 (代表)
